すくすく会

医療と社会福祉のプロが知恵と経験結集 無痛分娩、予防接種などトピックは様々

新生児から３歳までの子どもを育てる日本人家族を対象に、2004年９月に発足した非営利の育児支援サポートグループ。東京海上記念診療所の内科・小児科医師、加納麻紀先生が発起人となって始まりました。自ら２児の母で、日本語での子育てサークルの必要性を感じての発足でした。

加納先生のほか、代表を務めるソーシャルワーカーの羽田今日子さんと、在ニューヨーク日本国総領事館専属看護師・助産師の関久美子さんという、医療・社会福祉分野のプロ３人が、がっちり「トロイカ体制」を組んで運営に当たっています。

定例会は毎月第４水曜、ミッドタウンの日系人会で開かれます。歯科医の古山ジーン先生を招いて、子どもの虫歯予防について話を聞いたり、羽田さんがソーシャルワーカーの視点から体罰について話すこともあります。バイリンガル教育、アメリカでの予防接種、海外での子どものストレスと適応など、常にその分野の専門家の話を直接聞くことができるのが、この会の魅力です。

3ヵ月に1回は、マンハッタンのレストランで食事をしながら「妊婦懇談会」も開いています。無痛分娩について、日本人の麻酔専門医を招いて講演会を開いたり、加納先生による乳児の病気や治療についての講演会、アートセラピーなど、これまで様々なトピックが取り上げられてきました。

ウエストチェスターでも、園田産婦人科医師のオフィスで定例会を行っています。開催日はウェブサイトで確認してください。

インファントマッサージのクラスも

マッサージがいかに赤ちゃんの発育に大切かは、様々な研究結果が証明しています。国際インファントマッサージ協会 W www.iaim.jpから資格を得たインストラクターの羽田さんが、4回コース（150ドル）でお母さんに赤ちゃんのマッサージの仕方を教えています。

詳細は羽田さんまで
Tel (646) 270-7507
e akachanmassage@gmail.com

（左から）主宰者の関さん、羽田さん、加納医師

グループのプロフィール

すくすく会
(Suku Suku Kai)
創立：2004年
対象年齢：０～３歳
代表者／連絡先：羽田今日子
W www.nysukusukukai.org

※定例会参加費用は1組15ドル（場所と茶菓子代）
会場はマンハッタンが日系人会（15 W. 44th St, 11th Fl）、ウエストチェスターが園田産婦人科医（142 N. Central Ave, Hartsdale）

ニュージャージー日本人学校で学ぶ子どもたちの、元気な詩をご紹介します。

子どもの詩

ニュージャージー日本人学校
一年
名前 まつ本けん

プールでおよいだよ

バチャ、バチャ、バチャ。
すごいスピードで、
なんだかさめみたいだ。
ぼくは、にげようとした。
でも、おそいので
すぐつかまってしまいそうだ。
どんどんせまってきた！
それは、パパでした。

松本 健　1年生

「しあわせだったな」

高橋ゆき乃

いちごを食べて
おなかいっぱい
でもね
百こ食べるんだ
パクパクてわ

高橋 ゆき乃　2年生

ニュージャージー日本人学校
四年
名前 青山 美貴

さくらの花びら

ふわり
手のひらに
なにが
おちた
さくらの花びら
ほんわりとした
ちいろで
いいにおい
さくらも ほほも
ぴんくいろ

青山 美貴　4年生

ニュージャージー日本人学校
三年
名前 持田知美

ゆき

ほろり ほろりと、
ふって来て、
小さな雪がやって来た。
わたしの体にくっつくよ。
ひんやりして
気持ちいい。
いろんな形があるからね。
雪を見るのがすきなんだ。
とても小さな雪の話だよ。

持田 知美　3年生

ニュージャージー日本人学校
五年 名前 高瀬 稜平

大なわ

回っている大なわは　虹のようだ
鳥になり　虹をくぐる
くぐっても　くぐっても　虹がつづく
風もふく
さわやかだ
回っている　大なわは　巨大なビザのようだ
鳥になって　ビザを追いかける
でも　どんなに追いかけても　追いかけても
たどりつけない
ビザはとっても すばしっこいのだ
食べたいけれど　食べられない
でも　追いつけたい

高瀬 稜平　5年生

書き初め大会
では 始めて下さい
その声を聞いたとたん、
けんなは真剣そのものだ。
新年の目標に、
一人一人の強い気持ちが こもっている。

三宅 絵莉子

一視同仁

みんなが本当に真剣
だったことが出いつか
ふようにと書きました

一人一人が真剣に新年の
目標をがんばって書いた
ことを伝えたいと思った。

三宅 絵莉子　6年生